

授業科目(ナンバリング)	ソーシャルワーク演習(社会)Ⅲ (DC301)			担当教員	野田 健・梅野 潤子・山下 彦		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本授業は、ディプロマポリシーに則りホスピタリティの精神を基盤に据え、人々の自己実現を支援する能力を修得するため、以下の2点をねらいとする。 <u>①地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。②ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。</u>							⑤⑥⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	具体的なソーシャルワーク場面及び過程を想定した事例において、専門的知識・技術を活用して検討できる。				グループディスカッション等 課題レポート	10% 10%	
情報収集、分析力	ソーシャルワーク事例における具体的な課題について、総合的かつ包括的な援助の方針を考えることができる。				グループディスカッション等 課題レポート	10% 10%	
コミュニケーション力	様々なコミュニケーション技法を用いて、グループ討議や実技において人間関係を構築することができる。				グループディスカッション等	20%	
協働・課題解決力	高い意欲をもって、グループディスカッションや発表、実技において役割を見出し、貢献的に遂行することができる。				グループディスカッション等 課題レポート	30% 10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業への参加において、遅刻は厳禁である。</p> <p>「評価手段・方法」のグループディスカッション等(70%)とは、グループディスカッションや発表、実技(ロールプレイ等)、振り返りレポートを指す。有意義な活動に貢献できたかを「ホスピタリティを構成する能力」の4項目の到達目標に沿って評価する。それぞれの活動の評価に関するフィードバックは授業内やポートフォリオにて随時行っていく。</p> <p>課題レポート(30%)では、福祉の課題と専門知識・技術に関する正しい理解に基づいて、理論的かつ明快に自分の考えを説明できたかを評価する。文字数不足及び誤字、脱字は減点の対象とする。また、課題レポートを未提出の場合は単位認定を行わない。この評価に関するフィードバックは授業内やポートフォリオにて随時行っていく。</p>							
授業の概要							
<p>この授業では、担当教員がそれぞれ少人数クラスを受け持ち、15回の授業を展開する。地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を活用し、コミュニティワークの展開過程ならびにミクロ・メゾ・マクロレベルでのソーシャルワーク展開過程を、視聴覚教材、ディスカッション、実技指導(ロールプレイ等)を行いながら体験的に理解していく。また、総合的かつ包括的な援助のあり方についても理解を深めていく。なお、この授業は社会福祉士を目指し、「ソーシャルワーク実習指導(社会)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「ソーシャルワーク演習(社会)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「ソーシャルワーク実習(社会)Ⅰ・Ⅱ」を履修ないし単位取得した者を対象としている。授業の案内や課題提示等はポートフォリオを活用する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：一般社団法人日本SW教育学校連盟編(2021)『7 ソーシャルワーク演習[社会専門]』中央法規</p> <p>参考書：NPO法人日本SW研究会(2023)『医療福祉総合ガイドブック 2023年度版』医学書院</p> <p>指定図書：社団法人日本社会福祉士養成校協会監修(2015)『社会福祉士相談援助演習』中央法規</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>グループディスカッション等を行うので教科書の該当箇所及び事例を事前に読んでおくこと。</p> <p>グループのメンバーを尊重し合いながら、積極的に発言すること、調べること、書くこと。</p> <p>新聞やニュース、社会問題を取り上げた番組、映画等、広く社会の出来事に関心をもつことを期待する。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	オリエンテーション、授業の進め方、評価等の確認を行う。	予) シラバスを読んてくる。 復) 演習参加の意義と目的等を確認し、専門職になる意気込みをレポート提出。
2	<u>地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握</u> に関するソーシャルワーク演習	アウトリーチ・ニーズ把握について、事例を用い、グループディスカッション等を通して学ぶ。	予) 参考書第3章8熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
3	<u>地域アセスメント</u> に関するソーシャルワーク演習	地域におけるサービス提供について、事例を用い、グループディスカッション等を通して学ぶ。	予) 参考書第3章2熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
4	<u>地域福祉の計画</u> に関するソーシャルワーク演習	地域福祉計画の策定について、事例を用い、グループディスカッション等を通して学ぶ。	予) 参考書第3章1熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
5	権利擁護に関するソーシャルワーク演習	地域における権利擁護活動について、事例を用い、グループディスカッション等を通して学ぶ。	予) 参考書第3章4熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
6	<u>組織化</u> に関するソーシャルワーク演習	住民参加と組織化活動について、事例を用い、グループディスカッション等を通して学ぶ。	予) 参考書第3章6熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
7	<u>社会資源の活用・調整・開発</u> に関するソーシャルワーク演習	社会資源の把握、活用、調整、開発について、事例を用い、グループディスカッション等を通して学ぶ。	予) 参考書第3章5熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
8	<u>サービス評価</u> に関するソーシャルワーク演習	サービス評価について、事例を用い、グループディスカッション等を通して学ぶ。	予) 参考書第5章24熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
9	医学モデル・社会モデルに関するソーシャルワーク演習	障害者(身体障害)とその家族について、事例を用い、グループディスカッション等を通して学ぶ。	予) 参考書第6章38熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
10	ミクロレベルの領域を中心としたソーシャルワーク演習	学校でのいじめ問題について、事例を用い、グループディスカッション等を通して学ぶ。	予) 参考書第5章31熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
11	メゾレベルの領域を中心とした相談援助演習	地域におけるネットワークングについて、事例を用い、グループディスカッション等を通して学ぶ。	予) 参考書第3章3熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
12	マクロレベルの領域を中心としたソーシャルワーク演習	社会的排除について、事例を用い、グループディスカッション等を通して学ぶ。	予) 参考書第5章22熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
13	ミクロ・メゾ・マクロレベルの各領域におけるソーシャルワーク演習	ミクロからマクロレベルの実践について、事例を用い、グループディスカッション等を通して学ぶ。	予) 参考書第5章23熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
14	DVD事例への支援のあり方の検討	DVD事例への支援のあり方についてグループで検討する。	予) 記録の取り方の確認。 復) DVD事例の支援のあり方について、課題レポート提出。
15	DVD事例への支援のあり方についての発表、まとめ	DVD事例への支援のあり方についてグループ発表を行い、まとめを行う。	予) DVD事例の情報整理。 復) 授業の振り返りレポート提出。